

雑草魂 (見崎中3学年・進路通信)

No. 7

2020 (令和2). 6. 8

編集責任者 清原 明美

『未知の世界に飛び立つ滑走路』と言われる中学校3年生は、中学校卒業の進路を選択し最終決定をしていきます。

3年生になって初めてのテスト(学力分析テスト)が終わりました。久しぶりにテストを受けてみて、分かった問題がどのくらいあったのでしょうか。その反面、難しく解くのに時間がかかった問題がどのくらいあったのでしょうか。今回のテストから、自分自身の勉強時間や勉強の仕方など振り返ってみましょう。7月1日には学力診断テスト、7月16・17日には前期中間考査があります。

また、第1回の進路希望調査を配ります。進路について下記のような点を参考に考えてみましょう。

進路を考えたときのポイント



1 どんなふうに生きたいかイメージをもっている

何を大切に生きていこうと考えているのか、具体的なイメージをもっていますか。まだ、漠然としているかもしれませんが、徐々に具体的に考えていきましょう。将来の夢のことを考えることも自分の生き方を考えることにもなります。

2 将来の夢をもっている

将来の夢の中でも、特に就きたいと思っている職業がどこまではっきりと決まっていますでしょうか。その職業の内容をどこまで十分に理解しているでしょうか。その職業は自分の個性にどの程度合っているかを考えてみましょう。

自分の個性については、いろいろな角度から理解しましょう。

3 夢に届くまでの計画をもっている

自分の進路希望を実現するためにどこまで具体的に計画を立てているでしょうか。今、皆さんに求められていることは将来を見通しながら、中学校卒業後の進路先を決定するという事です。

真剣に考え、悔いのない選択をするためにも進路計画は具体的に立ててみる必要があります。

まず自分の目指している進路先の様子について、どこまで理解しているでしょうか。就きたい仕事の内容や進学したい学校での学習内容や様子など、あるいは、進学先と希望職業との関係など、どこまで調べて理解しているでしょうか。自分が就きたい仕事や進学したい学校を知ること、高校での中途退学や職場での不適合といったことを避けることになります。

4 そのための目標を立てて、実行している

夢を実現するために目標を立て、その目標を達成できるように実行していますか。

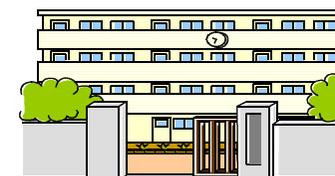
中学校を卒業すると、ほとんどの人が高校などへの進学をします。高校は、中学校との違いがあります。そのことを理解し、自分は何をしたらいいのか、何を続けていったらいいのかを考えて行動していきましょう。

(1) 試験があり、合格しないと入学できない。

テストだけでなく、面接や作文など様々な方法で行われます。試験当日だけは通用しません。つい、日頃が出てしまいます。服装面(例:言葉遣いやシャツ出しなど)や休み時間の過ごし方なども日頃からできているか振り返ってみましょう。

(2) 進級できないこともある。

(3) 中途退学する人がいる。



☆残り9ヶ月、気持ちが揺れ動いたり、不安になったり、悩むこともあるでしょう。

高校を調べたり、体験入学などに参加したりしながら、進路についての学習を深めていきます。学習したことを家族の人や先生などに相談をし、自分の進路を選択し、決定していきましょう。

保護者の皆様へのお願い

第1回の進路希望調査の用紙を配付しています。ご家庭でお子様の卒業後の進路について話をさせていただいて、期限を守って提出をお願いいたします。